

第1回魚沼市子ども・子育て会議 会議録

1. 日時	平成25年11月8日(金) 14:00～16:15					
2. 会場	魚沼市役所 小出庁舎3階 302会議室					
3. 出席者 (敬称略)	魚沼市子ども・子育て会議					
	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
	会長	中山 節子	○	委員	山本 都子	○
	副会長	坂大 優	×	〃	羽鳥 敦子	○
	委員	高橋 麻衣子	×	〃	星 弘子	○
	〃	伊佐 里美	○	〃	星 智裕	○
	〃	佐藤 代志子	○	〃	星 春子	○
	〃	今井 久子	○	〃	上重 礼子	○
	〃	浅井 和代	○	〃	星 麻衣	○
	魚 沼 市					
魚沼市長 大平 悦子						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">魚沼市子ども・子育て会議庁内検討メンバー</div> <ul style="list-style-type: none"> ・健康課健康増進室 係長 星裕樹 ・子ども課子育て支援センター センター長 大島良一(田中妙子保育士代理出席) 						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">魚沼市子ども・子育て会議事務局(教育委員会)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・教育長: 星 勉、教育次長: 富永 弘、子ども課長: 森山 強 ・子ども課係長: 風間松司、戸田千穂子 ・子ども課係員: 瀬沼潤子、皆川泰夫 						
4. 資料	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回子ども・子育て会議次第、委員名簿 ・魚沼市子ども・子育て会議条例、スケジュール ・子育て便利帳 ・魚沼市の子ども・子育て事業について(事前配布資料1) ・ニーズ調査について(事前配布資料2) ・子ども・子育て新制度について(事前配布資料3) 					
5. 会議概要	<p>(1) 市長あいさつ</p> <p>みなさんこんにちは。本日は第1回子ども子育て会議にご参加いただき大変ありがとうございます。全国的な少子高齢化により、昨年からは新潟県でも人口減少問題の会議が始まりました。魚沼市も参加しているのですが、それは魚沼市の人口減少が激しいという意味で、推薦されたのではないかと感じているところです。</p> <p>国では子ども子育て関連3法が成立し、平成27年度から新制度として本格実施される予定となっており、各自治体においても地方版の子ども子育て会議の設置が、努力義務となっております。</p> <p>そうした中で、皆さま方からご協力をいただき、魚沼市での子育て支援について</p>					

審議や調査を進める本会議が発足いたしました。平成27年度からの新制度に向けて、会議を進めてまいりたいと考えております。大変お忙しい中とは思いますが、皆さまよりお力添えをいただきたいと思いますと思っております。

これまでは保育園と幼稚園は別の部署で管理を行っていたものを、昨年より教育委員会に一本化させていただきました。子どもが生まれた時から、小学生から中学、高校への成長の過程をひとつの所で見たいというのが私どもの考えでございます。

本日お集まりの皆さまは、それぞれ子育てに関係されている分野の方々に、現状を良く把握されているかと思っておりますので、忌憚のないご意見をよろしくお願ひします。これからの会議への期待も込めまして、簡単ではありますが挨拶にかえさせていただきます。

(2) 委嘱状交付

伊佐委員が代表し、委嘱状の交付を受ける。

※委員の任期は子ども・子育て会議条例により、委嘱日（11月8日）より平成27年3月31日まで

(3) 委員及び事務局紹介

各自自己紹介

※中学校保護者会は、第2回目より代表を推薦し出席予定。

(4) 会長及び副会長の選出

会長に中山節子委員、副会長に坂大優委員が選任された。

(5) 会長あいさつ

皆さまこんにちは。今ほど会長をおおせつかりましたが、皆さまの意見を反映し参加して良かったなと感じられる会議にできるよう、努めてまいりたいと思っておりますので、ぜひ色々なご意見をいただきたいと思いますと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

(6) 議事

別紙「議事詳細」参照

(7) その他

森山子ども課長より

①次回の会議の開催は、来年2月頃に開催。（1カ月前までには連絡）

②市内保育園・幼稚園の再編について

- ・守門こども園の整備の進捗状況について
- ・ひかり保育園のつくし保育園への統合について

③「子育て・親育ち」についての基調講演とパネルディスカッションの情報提供

日程：1月26日（日）

場所：小出郷文化会館

主催：魚沼市まちづくり委員会

■議事詳細

議 事 内 容	
会 長	<p>それでは、次第にしたがって進行をすすめさせていただきます。 議事6の(1)の説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>「子ども・子育て新制度について」資料により事務局説明</p>
会 長	<p>今ほどの説明につきまして、ご意見等がありましたらお願いします。(特に無し) 続きまして、議事6の(2)、(3)の説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>「魚沼市の子ども・子育て事業について」、「次世代育成支援行動計画について」資料により事務局説明</p>
会 長	<p>沢山の資料と説明をいただいたので、少し整理をさせていただきたいと思います。 国で子ども・子育て支援法という新しい法律が出来て、魚沼市も子ども・子育て支援事業計画を新しく作成する必要がある、そこで委員の皆さまよりご意見いただいて作成していくということが、ご説明の趣旨だと思います。 魚沼市がこれまで取り組んできた事業を踏まえて、新しい計画の中でこのままで良いのか、それとももっと工夫する必要があるのか、限られた財源の中で別の形が良いのではないかとこの部分を考えることだと思います。本日は関連する資料をいただいております。 ここで皆さまのご意見をいただきたいのですが、いかがでしょうか。 今後方向付けがされる計画であるのでどこからでも良いのでお願いします。 では、私から質問させていただきたいと思います。今説明の中で、検討事項もあつたかと思ひます。 平成27年度からの次世代育成支援行動計画については、いままで評価は次世代計画の策定委員がしていたのが、今後は魚沼市子ども・子育て会議で評価することになるのでしょうか。</p>
事 務 局	<p>はい、そうです。</p>
会 長	<p>これまでの10年間、次世代育成支援行動計画の事業評価は毎年していたのでしょうか。</p>
事 務 局	<p>評価は毎年行っていますが、次世代行動計画の中には150ほどの事業があり、全ての事業を毎年評価はできないためいくつかの事業を抜粋し、担当部署で評価案を作成したものを、委員の方々よりご意見いただいております。</p>

会 長	魚沼市子ども・子育て会議での評価方法について具体的に決まっていますか。
事 務 局	魚沼市子ども・子育て会議で何名の委員からどう評価してもらうかは、現在検討中です。今までは3名の委員より評価いただきました。
会 長	今その話をこの会議の中でされたということは、次世代育成行動計画が今度作成する新制度事業計画と密接に関係し、中身としても関係するものがあるということでしょうか。
事 務 局	はい、そうです。
会 長	そうしますと、質問されることも次世代育成行動計画についてでも良いですし、子育て新制度についてでも良いかと思えます。何か質問がありますでしょうか。
委 員	<p>事前にいただいた資料で、魚沼市の出生数が平成24年度は253人だったことを見て、幼稚園の園児数が年々減っているのも納得できました。</p> <p>今回の新制度は親に対する支援だと思えますが、子どもにとってより良い育ちができる支援であってほしいなあと感じました。</p> <p>そして働く親への支援が中心かと思えますが、家庭で育てたいという親への支援も含めたニーズ調査を行っていければと思います。色んな選択肢の中で親が必要な保育を選べればベストだと感じました。</p>
会 長	ありがとうございます。他にいかがでしょうか。
委 員	<p>うちの会社は実際には男性が多いのですが、今の若い人はご夫婦で子どもを育てられるので、入学式や行事になると男性も休暇を取ります。昔とは違いそういう形がよいのかと思えますし、融通して休みを取ってもらっています。</p> <p>時代も変わってきているので、企業としても母子・父子家庭への配慮をしていかなければいけないと感じます。</p>
会 長	今お話のあった父子家庭については、補助等は母子家庭と同じように出ているのでしょうか。
事 務 局	国は平成22年8月から父子家庭も児童扶養手当の対象とし、同様の手当が出ています。魚沼市は平成21年より実施しています。

会 長	魚沼市は国に先駆けて手当を行ったという、すばらしい実績があるのですね。 こういった部分で、手厚い補助があった方が良いのではというご意見はありますか。
委 員	先ほどの意見に同感ですが、子どもの数が少ないにも関わらず、0～2歳児が保育所に通うという現状は、やはり若い夫婦は共働きをしないと生計が成り立たないのだと思います。新制度では発達段階的に重要な0～2歳児にとって良い環境ができればと思います。また、私も働きながら子育てをしましたが、病児・病後児についての支援も重要だと感じます。
会 長	確かにそうですね。現実的な問題だと思います。他にいかがでしょうか。
委 員	先ほど父子家庭の話がでしたが、男性の親は子育てに関し、ちょっとした事でも分からないケースがあり、どこに聞けば良いのかも分からない人が多いと思います。市民相談センターができて以前よりはスムーズになってはいます。総合窓口としてここに聞けばすべて分かるという部署があれば便利だと感じます。
会 長	そういった窓口はパンフ等にあるのかもしれませんが、相談しにくい環境があるかもしれませんので、事務局として検討いただければと思います。 時間の関係もありますので、議事を進めてさせていただきます。議事6の(4)について説明をお願いします。
事 務 局	説明の前に、今ほどの父子世帯への相談窓口についてですが、父子世帯の目線で物考える機会が欠けていたと思います。色んな窓口を宣伝はしていましたが、父子世帯目線というところに、はっとさせられました。また、事務局として持ち帰り検討させていただきたいと思います。 「子ども・子育て事業計画策定に係るニーズ調査素案の検討について」別紙により事務局説明。
会 長	ありがとうございます。内容については、回答者の負担にならずに多くの人より回答がいただけるよう、調査票を未就学児と小学生以上に分けた点、調査項目は国の指定項目と魚沼市独自の項目が入っている点がポイントですが、今ほどの説明で、なにかご質問、ご意見はありますか。
委 員	このニーズ調査は該当の全世帯を対象としている部分は気に入りましたが、世帯で1番下のお子さんのみを、対象とした調査であることには疑問を感じました。5年に1回の調査でこれからの子育て支援を方向づける重要なものであるため、大変かもしれないがすべての児童を対象としてもらいたい。そうしないと、調査の意味も薄れ本当のニ-

	ズが分からない懸念があります。
事務局	そのことについては、何人も兄弟のいる家庭の場合、回答者の負担が大きいのではないかということがありました。未就学児対象の調査票だけでもかなりの厚さとなってしまいます。
委員	<p>未就学児と小学校以上では管轄する大きな組織も変わってくるし、すべての児童に調査票を出すのは行政の無駄な面もある。保護者が自分の家庭の子育ての方針をしっかりと決めて、アンケートに答えればこの調査対象で十分だと思います。</p> <p>ただ、保育サービス実施状況の中には魚沼市に馴染まない事業もあるため、回答者が答えづらいのではないかという点と、休日保育の利用料が無料となっていて、実際とは異なる点が気になりました。</p> <p>保護者はそれほど暇では無いし、アンケートにもなかなか答えてくれない現状もあるため、回答率を考えるとこの程度で良いのではないのでしょうか。</p>
会長	今のご意見受けて、追加説明はありますか。
事務局	ご意見はアンケートの2～3ページのことだと思いますが、この辺りは実施場所の記載が無かったり、課題もあります。ご指摘にあった点を見直したいと思います。
委員	児童館は小出、堀之内や広神などにあり、学童保育は各地区にあると思うが、そういった場所や施設の具体名があった方が、今後小学校に上がる保護者が見た場合に、どこを利用できるのか考えられる参考になるかと思います。
事務局	私どもも迷うところがあったので、ご意見を参考にさせていただきます。
委員	保護者は自分で調べるので、あまり細かく記載しなくても良いのではないのでしょうか。それは魚沼市の提供している別の資料でも分かるため、ニーズ調査の中ではそこまで記載する必要は無いと思う。あまり調査票を厚くしないこと、何を聞きたいのか端的に分かることが重要だと思う。
委員	<p>すこし意見は異なるが、こういうニーズ調査があるのであれば、いままで埋もれていた意見等を、堀上げる良いチャンスだと思う。行政の調査が大変というよりは、困っている家族やお子さんを助けてやるための支援や調査だと考えます。</p> <p>個人的にはもっと、魚沼市独自の設問を増やしても良いのではないかと感じます。魚沼市に望むことや特に困っている点等の設問が増えれば、新しい事業や支援にもつながっていくと思います。</p>

会 長	とりあえずは色々な意見を出していただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。
事 務 局	中身で字句の修正がありましたので説明させて下さい。 (数箇所を訂正する。)
委 員	全児童に対してアンケートをした方が良いという意見も出ましたが、それについてはいかがでしょうか。
委 員	なんのためのニーズ調査かを考えると、羽鳥委員が言うように本当のニーズを知るための調査だと思います。ただ内容を見ると山本委員が言うように、何度も同じことを質問するのは無駄があるため、その辺の工夫は必要と感じます。
会 長	統計的には1番下の児童を対象とすると、その部分に意見が偏ることはあるのでしょうか？ それとも1家族1児童対象の方が集計上で都合が良いのか、そういった部分も含めてお考えいただきたいと思います。ここで結論を出すのは難しいですかねえ。
事 務 局	統計的に言えば回収率の問題だと思います。回収率が低いと意見の偏りについて心配しなくてはならないし、仮に回収率が対象2, 200名の5割を超えていれば、かなりの意見が反映された調査だと考えます。
委 員	一定以上のサンプルが無いと調査としてもなかなか難しいというお話ですが、今までの実績はどれくらいのものでしょうか。
事 務 局	自分の家にもある課から調査がきた。面倒だと思う反面、担当者の顔が分かるため真面目に答えたが、そんな調査票も兄弟がいて3部もくれば大変だと思う。 理想を言えばきりが無いが、時間とマンパワーは限られている。 たまたま今年は魚沼市で様々なアンケートが出ていることもあるため、市役所としては、その部分も頭にある。
委 員	私は両方に該当する子どもがいるが、個人的にはアンケートに回答することは、あまり嫌いじゃないです。アンケートが2部きても、負担を軽減する工夫があればいいのかなあと思いました。
委 員	これに回答すると子どもたちのためになるという、アンケートに答えたくなる工夫が必要ではないでしょうか。工夫して全児童へのニーズ調査をしないと、本当にニーズが分からないと感じます。

委員	<p>私の子は小学校高学年になり学童保育が4年生までだとすると、アンケートへの回答はあまり意味が無いかと思う。そういった人たちはどう回答していくのか疑問に思う。</p>
会長	<p>多くの意見が様々な角度から出ましたが、時間も限られておりますので、この場で決められる事と、事務局から持ち帰ってもらって検討してもう事に整理していきたいと思 います。</p> <p>まだ、発言されていない方がいいでしょうか。</p>
委員	<p>個人的には、色々な世代のお子さんをお持ちの保護者がいるわけなので、調査票はそれぞれに出した方が良いと思う。すべての児童への配布が大変だというのであれば、兄弟が3名以上いても、未就学児童と小学生児童で各1部のみを配布するという方法はど うでしょうか。</p>
委員	<p>対象児童は多くて大変だろうけども、全児童に調査表を出した方が良いと思う。</p>
委員	<p>この会議1回でニーズ調査が行われて、次回はその結果の協議になるのが心配です。 また、書いてある文言についても意見のある部分があります。</p>
会長	<p>文言等についてはこれだけの量ですので、後日に修正やご意見を書いたものを事務局 に提出するとか方法があるかと思います。</p> <p>対象児童については重要な部分ではありますが、多数決を取るべき内容ではないので、 事務局の方からご意見はありますか。</p>
事務局	<p>予算も絡んでくる話になりますので、実際にお金のやりくりができるのか検討させて いただきたいと思います。</p>
会長	<p>集計を取るに当たっては経費がかかるものでしょうから、対象児童についてこれまで のご意見を参考にさせていただいて、事務局の方で検討いただくことで良いでしょうか。</p> <p>皆さまのご意見の趣旨は、たくさんの方々の多くの意見が反映された調査であること が重要なんだ、ということだと思います。</p>
委員	<p>大きな市では1,500世帯とか抽出をかけて郵送しているかと思います。であれば、 兄弟で対象にならなかった児童向けの自由意見欄を設けるもの一案かなと思いました。</p>
委員	<p>今の調査票にもその項目はあります。あまり細かくしすぎても意見がまとまらないの ではないでしょうか。</p>

委員	市独自の項目があっても良いのではないかと思います。 調査票には魚沼市の新しい取り組みが、見えてこない気がします。
委員	それはアンケートの自由欄で、意見を書けば良いのではないのでしょうか。 アンケート項目をやみくもに増やしても、その事業が魚沼市に適しているか疑問が残ります。休日保育にしても魚沼市ではまだ少ないため事業拡大の可能性もあるし、このアンケートを集計し、その後でどうするのが重要なのですから、いきなり事業を広げて、アンケート項目を増やしてもいい効果はないと思う。
委員	小出や堀之内と守門、入広瀬の状況は違うため、この調査は実情を把握するいい機会だと思う。色んな意見を反映させるためにも、兄弟がいるのであれば少なくとも未就学児用と小学生以上用の2種類の調査票は配布した方が良い。
会長	ありがとうございます。この調査は全国的に行われるものですので、他市や県との比較が必要なためスタンダードな設問も多くなります。ただその中で、魚沼市が持つ問題が隠れてしまっただめなので、その辺に留意した設問を設定していく流れで良いのでしょうか。具体的にどのような設問を設定していくのかは、即答はできない状況なので、事務局にあずけさせていただくことで良いのでしょうか。
委員	もう1点いいのでしょうか。就学前児童アンケートの参考資料ですが、地域型保育は小規模保育と家庭的保育、事業所内保育と居宅訪問型保育があるのに、どうして調査票には小規模保育と家庭的保育が出てこないのでしょうか。 調査票に載せなければ、保護者はその選択肢が分からないままアンケートに回答してしまいますし、それでは本当の保育ニーズは出ないと思います。
事務局	この件については、検討させていただきます。
委員	このニーズ調査によって、児童はどの種類の保育園が良いのか、それとも預かり保育が良いのか選別されていくのでしょうか。
事務局	利用者支援のお話でしょうか。
委員	この設問から各自の保育サービスの適性が出ると伺ったのですが、そういったものではないのでしょうか。
事務局	このニーズ調査は現時点でのイメージでお答えいただくものであって、実際の利用に当たって、ご希望を変更いただいても構いません。この回答が即、お子さんのご利用につながるものではありません。

委 員	預かってもらう状況の選択肢では、家に預けづらい状況が列記されており、保育園や幼稚園に見てもらうことを誘導しているようにも取れるため、少し気になりました。
事 務 局	この表現についても、検討させていただきます。
委 員	問1について選択が、母親、父親とその他で祖父母が無いのはどうしてでしょうか。
会 長	事務局に伺いたいのですが、この調査で全国比較をする場合に、共通質問で直している表現があるのであれば教えて下さい。
事 務 局	文言の標記については、多少は変えて良いことになっております。例えば質問1に「祖父母」の選択肢を加えることは可能です。ただ、その場合に国へ報告する中では、「その他」に計上されます。
委 員	地域のつながりもだんだん薄れてきているため、地域が世話をやいてくれるような支援も必要なのではないでしょうか。自分の子育てでも地域に助けられた経験があるが、そういった支援も選べるような選択肢があったほうが良い。
委 員	全国的な調査の中で、変えられる質問と変えられない質問について、教えてもらって良いでしょうか。
事 務 局	先ほどの説明にもあったが、例えば問1の中で「祖父母」と入れても、国に報告する時には「その他」として報告が上がる。魚沼市独自の設問があったとしても、国への報告は所定の形式の中で行うし、魚沼市としては、その分かれた結果を独自にニーズ調査に使用するという事です。
委 員	調査で100%完全なものを作るのは難しいと思う。質問をあれもこれもと言ってもなかなか網羅できない。国の調査は一般的になるため、魚沼市に馴染まないものもある。とりあえず調査をやってみることが大事で、その中で魚沼市の問題点を拾い出すという方法もあると思う。
会 長	<p>本日は皆さまよりたくさんのご意見をいただいたわけですが、この調査の大きな項目は国の調査項目を利用していることをご理解いただきたい。また、魚沼市で特に必要な支援や要望については、誰でも分かりやすく自由欄に書けるよう、事務局に検討いただきたい。この調査ではクロス集計も行われるため、表面上では出ない色々な問題点が浮き上がってくるかと思う。</p> <p>このアンケートの文言部分の修正等については、ここ1週間くらいの間には事務局へご連絡いただくことでいかがでしょうか。(特に異議無し)</p>

事務局	<p>時間やお金の制約のある中で、皆さまのご意見を可能な範囲で踏まえて、アンケートを実施させていただきたい。先ほどの説明の中では、11月から12月にかけてアンケートを配りたいということであった。</p> <p>もし間に合うようであれば、皆さまからいただいた意見を、会長、副会長を含め調整し、皆さまにもう一度練ったものをお返ししたい。もう一度集まる場を設けることは難しいかもしれないが、限られた時間の中で、できるだけ丁寧な段階を踏みたい。</p>
会長	<p>ありがとうございました。今の会議の中で言えなかった事や気付いた事等がありましたら、1週間以内ぐらいに事務局へご連絡ください。</p> <p>本日の会議では、できるだけ多くの保護者の意見を吸い上げたいという皆さまの思いを共有しましたので、いい調査ができて、魚沼市の子育て支援が良い方向に進めればと思います。</p> <p>それでは、ここで任を解かせていただきます。初めての進行で皆さまの十分の意見を吸い上げられなかったかもしれませんが、本日はご協力ありがとうございました。</p>

第1回会議 検討事項等について			
NO	協議内容	結果・検討事項等	期限
1	次世代育成支援行動計画の評価について	魚沼市子ども・子育て会議の中で行うが方向だが、その具体的な方法については検討していく。	未定
2	子育て総合相談窓口について	父子世帯の目線も入れながら検討していく。	未定
3	ニーズ調査の対象者について 【案】 ・世帯で一番年齢の低い児童 ・全児童 ・兄弟がいる世帯で、未就学児と小学生以上児童に各1部	予算も含めて事務局で検討をしていくが、仮に「世帯で一番年齢の低い児童」のみが対象となったとしても、他兄弟のニーズを掘上げられるよう、自由回答欄を分かりやすく修正する。	調査まで
4	ニーズ調査票の文言について	会議の発言以外で意見の有る場合は、11月15日（金）までに事務局へ連絡を行う。	11/15 （金）

NO3～4 については、各委員からのご意見を踏まえ、会長・副会長を含め調整し、アンケート実施前までに各委員へ修正案の送付を行う。